

# 木造・木質化は “さかの木”で出来ます!



## 木造化

木造は社会貢献!  
企業の価値を高めます!

事業用建物の建築を検討されている皆さまが、「持続可能な木材の利用」=「木造建築物」を選択することによって、グローバルトレンドを踏まえた企業姿勢を打ち出すことができ、世界的に深刻な地球温暖化防止等の社会貢献に努めることができます。

## 木質化

木の温もりや優しさで  
好感度や満足度がアップ!

人の手に触れ、見える部分に木材を使用することで、施設利用者に木材利用のメッセージを伝えます。木材の特性である柔らかさや温かさを活かし、適材適所に木を使うことで好感度や満足度もアップ!木材に囲まれた空間がくつろぎや健康増進の効果をもたらします。



佐賀県産木材の使用は森林資源の循環利用と健全な森林づくりに貢献します。

適切に管理された森から生産される佐賀県産木材を建築物に使用することは、循環型社会の構築や、森林地域の活性化に繋がります。温室効果をもたらす二酸化炭素を大気中から吸収してくれる樹木を使用することで、長期にわたって炭素を貯蔵することになり、温暖化防止となり、街なかで森の役目を果たすことになります。



発行元：さかの木の建築推進協議会

企画編集：さかの木の建築推進協議会(事務局:佐賀県林業課)

〒840-8570佐賀市城内一丁目1番59号 tel 0952-25-7133 fax0952-25-7283

# “さかの木”で 魅力的な 事業空間をつくらう。



事務所



宿泊施設



保育園・幼稚園



介護福祉施設・病院



倉庫・工場



バレエ教室

## 建築物の「木造・木質化」はグローバルトレンドです!

法の改正や技術開発によって、木造建築は以前より手軽に建てられる時代になり、世界的にも木造のビルが増えてきています。

木材は鉄やコンクリートと違って持続可能な資源です。

佐賀に豊富にある森林資源を木材として活用しない手はありません。

事業主の皆様、ぜひ「木造・木質化」を建物の選択肢の一つとして加えてみませんか?

“あたたかみ”があって、心地よい事業空間づくりを、さかの木の建築推進協議会がサポートします。

佐賀県産木材を活用して  
SDGsを実現しよう!



# おすすめ 1

## さかの木の建築推進協議会は 持続可能な開発目標 「SDGs」を支援しています。

木材は鉄やコンクリートと違って持続可能な資源です。最近では、循環型社会の構築が叫ばれる中、木材を活用する意識がグローバルに認識されるようになってきています。特に、建築分野においては、木材を使うことで建設の際に発生する温室効果ガスを減らすことができ、新たな植林によって二酸化炭素を吸収することから、持続可能な建築材料として、活用の機運が高まっています。



# おすすめ 2

## 地産地消

佐賀の山から伐り出した木材を使って、佐賀の製材所、建築士、工務店・建設会社に関わりながら木造建築をつくることで、地域の産業・経済が活性化し、木材の「地産地消」に貢献できます。また、生産者の顔が見える「佐賀県産木材」の活用は、安心安全な建物づくりにつながります。

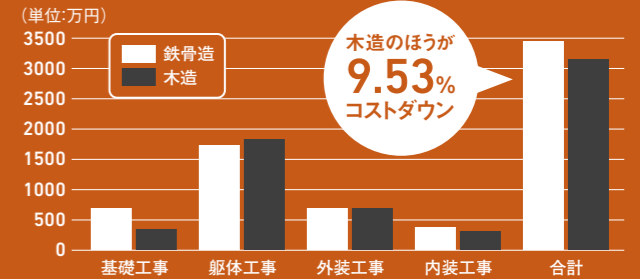


# おすすめ 3

## 木造も比較してみて! 経済的

木造の躯体は、他の構造に比べて軽いので、杭工事や基礎工事費が抑えられ、建設工事費全体としても、木造は他の構造に比べ経済的になる傾向が見られます。木造であれば工事期間も短くなるため、条件が整えばコスト面でも優位性を発揮できます。

2階建て事務所におけるシミュレーション  
【延べ床面積 約430㎡】



2階建て事務所を例に比べても、結果は郊外型店舗の例と同じ。木造のほうが全体としては割安に済む。その理由も郊外型店舗の例と変わらない。基礎工事費が抑えられるからだ。

出展:(一社)中大規模木造プレカット技術協会

# おすすめ 4

## 長く使える

木造建築は、建築後の増改築が他の構法・建材よりも比較的容易にできます。様々な用途において使い勝手のよい建物であるため、将来にわたって長く活用できます。木材がもつ特性を理解した地元の建築士や工務店・建設会社とともに末長く利用できる建物づくりが可能です。



# おすすめしたい理由

# “さかの木でつくろう”

# おすすめ 5

## 快適さ

木材や木造建築物には、人のストレスを少なくする、疲れにくくするなど、生理的・身体的な効果や、室内の調湿・空気の浄化、消臭や抗菌作用など、人が過ごしやすい環境づくりに効果があることが科学的に実証されています。



# おすすめ 6

## 耐震性

木材は鉄筋やコンクリートに比べて強度が低い印象があるかもしれませんが、そんなことはありません。建築基準法で、どの構造であっても、同じ耐震性を持った設計とすることが求められています。軽量の木造建築物は、大きな揺れに対しても有利にはたります。

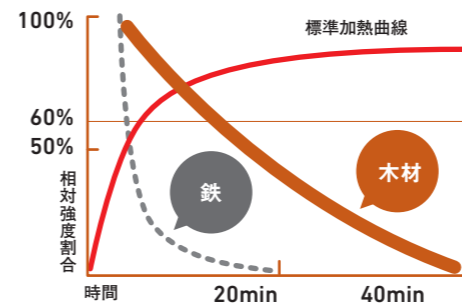


# おすすめ 7

## 防火性

「木材は燃える」という事実は決して否認しません。しかし、その燃え方には特徴があります。図に示したように、燃え進むのがとても遅いのです。木材はゆっくり燃えながらも強度を保つのに対し、鉄骨は燃えないものの熱せられると強度は落ちてしまいます。燃え進む速度が遅い木材は、避難の時間的な余裕を確保することができ、安全な構造です。

鉄、木材の加熱による強度グラフ



出展:(公財)日本住宅・木材技術センター

# おすすめ 8

## デザイン性

建築技術の向上と県産木材の安定供給により、木造建築物の可能性が現在さらに広がっています。広さや高さのある空間も木造建築で叶えることができました。木組の美しさや、自由自在な設計で、木構造の美しさが際立ちます。

